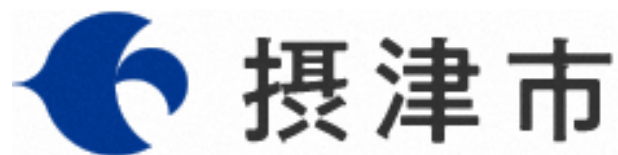


# 鳥飼まちづくりグラウンドデザイン説明会

## 居住性向上エリアC 2回目

令和5（2023）年8月19日

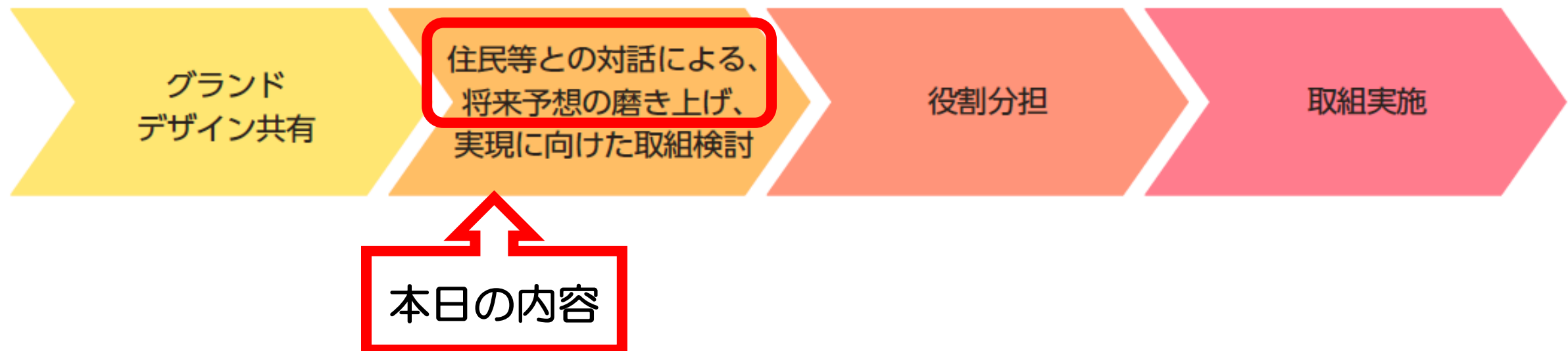


# はじめに

## 【本日の内容】

- 今までに頂いた意見等の紹介
- グランドデザインの将来予想等の修正の必要性
- 今後の進め方等について

## グランドデザインの進め方



## 前回いただいた質問について

### 【質問1】

摂津市の下水排水能力は大丈夫か。どの程度の雨が降ると内水氾濫の可能性があるのか。

### 【回答】

市では、下水道と現在ある水路を効果的に組み合わせ、10年確率降雨（1時間あたり48.4mm）まで対応できるよう、雨水排除の計画に基づいて整備を行っております。

また、市HPでは、既往最大である24時間雨量116mm、1時間雨量110mmの降雨があった場合に、どこで内水氾濫する可能性があるのかがわかる、内水ハザードマップを公開していますので、参考にしてください。

ただし、内水ハザードマップ上、被害が想定されていない地域であっても、想定雨量以上の降雨があった場合は浸水の可能性があります。

### 【質問2】

南摂津駅までのアクセス性向上について、区画整理も含めて考えているのか。

### 【回答】

南摂津駅周辺環境改善を行う手法として、地域の皆さんが区画整理事業を希望し、関係者の多数が協力いただける状態であれば、市としても、区画整理事業を行う準備を始めるものと考えます。

## 将来予想

(1) 快適に通勤、通学、買い物ができ、災害時でも円滑に避難できるよう、徒歩や自転車等による南摂津駅までのアクセス性を高めます

※将来予想に関するご意見

- 新在家1丁目、2丁目の北側を通行するトラックは、地域の関係企業の許可車両のみとしてほしい
- 新在家のファミリーマートの三叉路に信号機を設置
- 避難の観点も含めて、新野々から橋を架けて堤防上に直結する橋を造ってほしい。
- 新在家の中は道が狭く、歩行者が危ないので堤防上を通るのが良いと考えるので、新幹線側から公民館までの7-19時までの通行禁止を撤廃
- 新幹線側から川沿いの斜面を使用し、道で車両交差できる場所を作ってほしい

※これら具体的なご意見については、以下の課題解決に向けた取り組みの内容を議論する際に、一緒に議論していくことが望ましいと考えます。

### 【課題解決に向けた取り組みの方向性】

(1) 快適に通勤、通学、買い物ができ、災害時でも円滑に避難できるよう、徒歩や自転車等による南摂津駅までのアクセス性を高めます

(2) 円滑な広域避難や避難行動要支援者に対応するため、地域の防災力・減災力を高めます

将来予想

(4) 地域コミュニティの強化に向けて、子どもから高齢者まで集い、交流する場所と機会の創出に向け取り組みます

※将来予想に関するご意見

- 摂津市独自で警報を発するシステムを構築する
- 子どもから高齢者までが安全に避難できる、交流できる場所を作る
- 防災を重視したコミュニティセンターの建設  
(浸水しない高台、ヘリポート付き発着場、堤防から屋上へ車いすで昇れるようなスロープ、フリーWi-Fi設置、太陽光発電等の電源確保、避難行動要支援者の緊急避難所、平時は飲食可能なスペース、市民文化活動が出来るスペース)

※これらのご意見は、安全とコミュニティと両方に関係すると思われるので、以下の課題解決に向けた取り組みの内容を議論する際に、一緒に議論していくことが望ましいと考えます。

【課題解決に向けた取り組みの方向性】

(2) 円滑な広域避難や避難行動要支援者に対応するため、地域の防災力・減災力を高めます

(4) 地域コミュニティの強化に向けて、子どもから高齢者まで集い、交流する場所と機会の創出に向け取り組みます

## いただいた意見紹介

(3) 良好な居住空間を形成するため、今ある地域資源である農業用水路を保全するとともに、並木道の整備に努めます

## 将来予想

- 堤防の斜面が拡幅整備され、ゆっくりくつろげる椅子も設置されている。
- ハイキング途中の人・散歩を楽しむ人・車椅子で来る人など多く、子どもたちは蝉取りに夢中。

## 地域資源

堤防には神木（銀杏）を含む四季折々の木々や彼岸花・水仙などキレイな草花・小鳥のさえずり・セミ・カラスなどなど自然がいっぱい。

昔は新在家の中を流れる水路は、蛍が飛び交う「春の小川」の歌詞のような川だった。

## 実現するための課題

堤防は狭く斜面の草花は整備不十分

## 課題への対応内容

自然堤防を守る市の方針が強く出され、いくらかの補助金も出て有志で整備する。

## 地域資源

※地域資源に関するご意見

ひなびたローカル田んぼ風景

## いただいた意見紹介

(3) 良好な居住空間を形成するため、今ある地域資源である農業用水路を保全するとともに、並木道の整備に努めます

### 将来予想

緑豊かで安全な生活道路が整備されている。

### 地域資源

新在家の堤防道路があり、堤防高を利用した高台に避難ができる。

### 実現するための課題

生活道路が狭く歩道がない。

課題への対応内容 (未記載)

### 将来予想

河川養殖事業、淡水魚の大量養殖

### 地域資源

大河淀川に沿う街並、右岸の立地

実現するための課題 (未記載)

課題への対応内容 (未記載)

## いただいた意見紹介

(3) 良好な居住空間を形成するため、今ある地域資源である農業用水路を保全するとともに、並木道の整備に努めます

## 将来予想

(4) 地域コミュニティの強化に向けて、子どもから高齢者まで集い、交流する場所と機会の創出に向け取り組みます

緑豊かで安全な生活道路が整備され、災害時の避難や防災拠点ともなる公共施設や集会所が地域の人たちに活用され、地域の人たちのつながりが広がる。

## 地域資源

公共施設ではないが新在家町公民館と新在家公園はエリアの中心に位置し、老若男女コミュニティの場として活用できる。高い建物や公共施設がない本エリアにおいて、防災の拠点としても期待できる。

## 実現するための課題

高い建物や公共施設がない。駐車場スペースが少ない。集会所が古い。

## 課題への対応内容

(未記載)



### 将来予想

祭りや正月には八幡宮では本殿に参拝し、稲荷神社にお参りする人も多い。祭りは「新在家八幡宮氏子中」の旗が市中にはためき、かなり盛大に行われ、初午祭りには手作りの「稲荷大明神」の数色小旗が風に揺らぎ、多くの方が参拝されている。

### 地域資源

新在家には古い歴史（延暦4年：785年）の八幡宮や稲荷神社があり、特に秋祭りや稲荷神社の「初午祭り」がある。

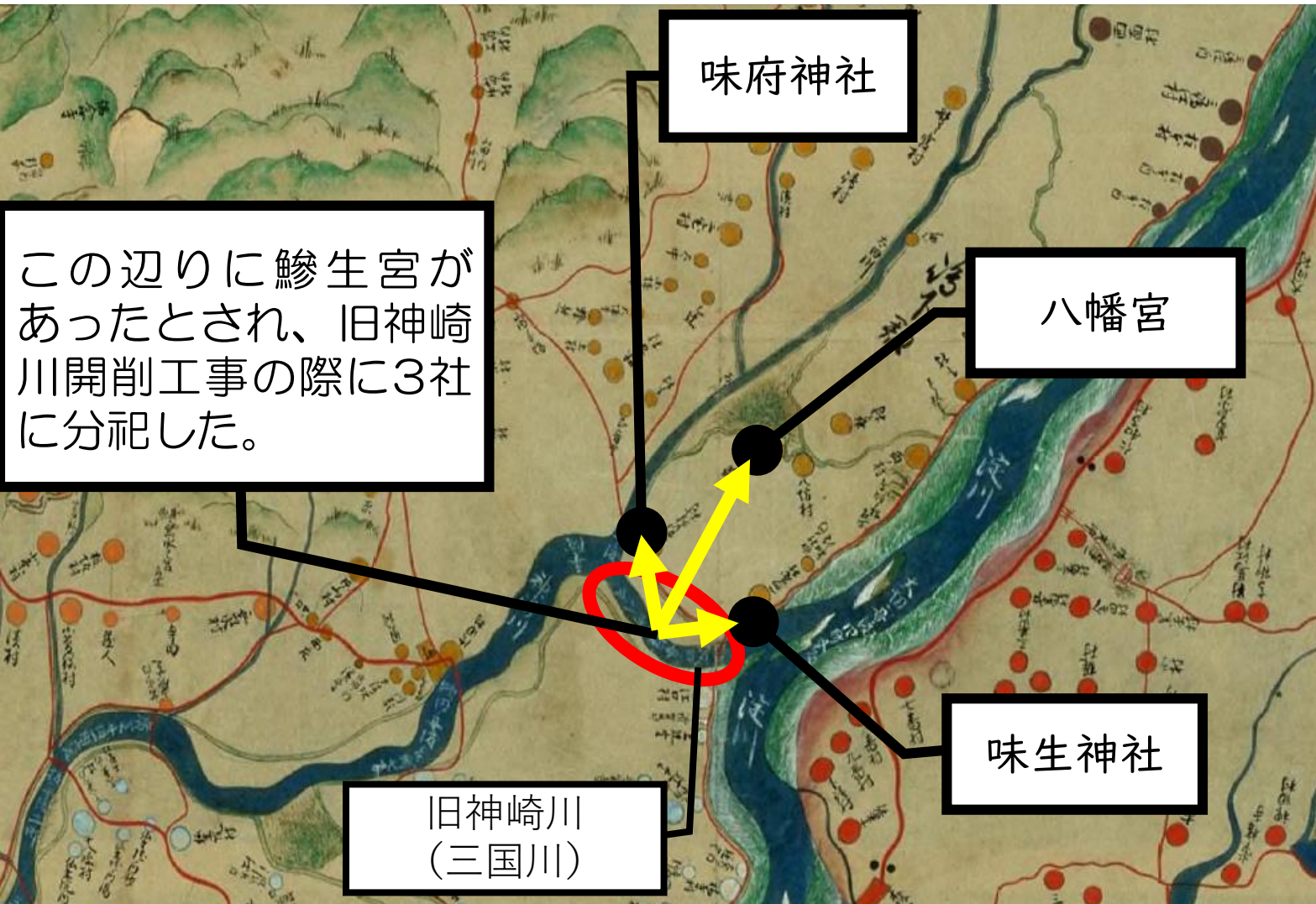
### 実現するための課題

秋祭りでは若者が少なくなり、幟・吹き流し・大小10個の提灯が出しにくくなっている。参拝者は氏子とハイキングの人程度、正月は氏子とあと僅かと少ない。

### 課題への対応内容

文化財を掘り起こし護持するという市の方針が更に強く出され、氏子と文化財愛護のボランティアが集まり文化遺産が継承される。参拝者も多くなる。

# 八幡神社の歴史について



- 延暦4年（785年）、淀川の洪水を安威川に流して、淀川の水害を減らす目的で、淀川と安威川を結ぶ旧神崎川（図内赤丸箇所）を新たに開削することとなり、そのルート上（字「宮ヶ内」（現在の南別府町付近））にあった鱒生宮は移転を余儀なくされ、結果、鱒生宮は、味府神社（天照大神（アマテラスオオカミ））、味生神社（若一王子（ニャクイチオウジ））、八幡宮（八幡大神（ヤハタオオカミ））（当時は味生神社）に分祀された。この時、**新在家の八幡宮**が誕生。
- 昭和21年に神社設立登記を完了し、味生神社から八幡神社へ改称。

地域の歴史を知って、もっと地域を好きになる

### 将来予想

古民家巡りやお地蔵さん（新在家・鳥飼八防・鳥飼下など）巡りのハイキングコースが出来ている。古民家では庭の地蔵菩薩に参拝し、建築物を見学。決まった月一回の日に、低額でのお茶接待があり、ハイキングで立ち寄る人や近隣のお年寄り・子どもが集まり交流の場になっている。8月24日の地蔵盆には当地又は近くの公園で夏祭り盆踊りが開催され、大勢の人が楽しんでいる。

### 地域資源

木造古民家があり、その家にはお地蔵さんがある。

### 実現するための課題

今は誰も住んでおらず、持ち主の方が度々清掃に来られる程度。

### 課題への対応内容

市の古民家保存が更に明確になり、住民有志やボランティアでお茶接待をして、有志による盆踊りなどの企画実行する。

## 将来予想

子どもからお年寄りまでが集まれる場所で、地元の人と転宅されてきた人との交流の場になっている。  
横の集会所では「明日の笑顔を作る地域の活動拠点」として多くの参加者で賑わっている。

## 地域資源

公園（ちびっこ広場）には遊具があり、桜があり、特に枝垂桜・藤棚・若干の椅子もある。

## 実現するための課題

今は共栄会所有の土地・集会所であり、自由に子どもを遊ばせたり、多くの人が集まったりしにくい。  
枝垂桜も藤棚も剪定が不十分。話し合いの出来る椅子や机も不十分。

## 課題への対応内容

市の所有地にして、防災を重視したコミュニティセンターが出来れば、自然に人が集まり話し合いの場となる。  
市又はボランティアで、公園内の木々を剪定し、雑草も定期的に除草する。

### 将来予想

光蓮寺では寺内庭を見学し、本堂を参詣・見学しタイミングが良ければ、椅子席で知識豊富な前職の話をゆっくり聞いている。年末除夜の鐘撞は現在の100余名から大幅に増えている。

### 地域資源

歴史ある（永正3年：1506年）西本願寺派光蓮寺がある。

### 実現するための課題

光蓮寺檀家も今後減少傾向が予想され、維持管理が大変になる。

### 課題への対応内容

文化財愛護の方針が更に強く出され、檀家と文化財愛護のボランティアで護持継承できる。

## いただいた意見紹介

(4) 地域コミュニティの強化に向けて、子どもから高齢者まで集い、交流する場所と機会の創出に向け取り組みます

## 将来予想

子どもたちが元気に遊べる公園が整備されている。集会所4箇所、ちびっこ広場7箇所は、より身近な地域のつながりを広げる上で、さまざまな取り組みが期待できる。耐震化や施設整備、遊具の更新で使い勝手の良い施設や広場にして欲しい。

## 地域資源

UR団地内にも二つの公園があり子どもたちが安全に遊べる居場所である。

実現するための課題 (未記載)

課題への対応内容 (未記載)

## 将来予想

※将来予想に関するご意見

コンベンションセンターが必要

## 地域資源

※地域資源に関するご意見

- 市営鳥飼野々団地跡地はコミュニティセンター予定地として売却せず残されている。地域の貴重な空間であり有効活用が求められる。
- 年代の違う元気な子、学生、若者、中年、老年多彩な集いがある。

## いただいた意見紹介

その他のエリアやエリア全体に関する意見

エリア全体 ②利用しやすい公共交通

### 将来予想

運送の自動化が決まってくると鳥飼の役目は大きい。近畿道縦貫道を鳥飼大橋と新橋に役目を分けさせ、各交叉点を完全立体交差にして信号のない立体交差を作る。

### 地域資源

一津屋交差点、鳥飼大橋がある。

### 実現するための課題

鳥飼が止まれば大阪交通がストップする。基本の流れがある摂津経済の中心、淀川右岸の街であり、運送業道路が摂津が動かしている

### 課題への対応内容

(未記載)

### 将来予想

(未記載)

### 地域資源

船、車、鉄道、航空を活性化するための基礎がある。新幹線基地があり、近畿道の要。

### 実現するための課題

(未記載)

### 課題への対応内容

新幹線基地から、車・鉄道・航空機の貨客利用を大きく進める

## いただいた意見紹介

その他のエリアやエリア全体に関する意見

エリア全体 ②利用しやすい公共交通

## 将来予想

セッピーバスの増便や土日運行、コミュニティプラザまでの延伸など、利用者のニーズに合わせた拡充を期待したい。

## 地域資源

22集会所前(野々2丁目)と41集会所前(新在家1丁目)の2カ所あり、公民館や南摂津駅、市役所への足として利用されている。

## 実現するための課題

セッピー号の便数が少なく不便。  
近隣のバス停にベンチや上屋根がない。

## 課題への対応内容

(未記載)

## いただいた意見紹介

その他のエリアやエリア全体に関する意見

エリア全体 ③地域コミュニティ活動の活性化

## 地域資源

※地域資源に関するご意見

農業、商業、漁業、IT業、多種多彩の街がある



## いただいた意見紹介

その他のエリアやエリア全体に関する意見

### 将来予想

エリア全体

⑤ICTを活用したまちの発信力の向上、コミュニケーションの強化

※将来予想に関するご意見

光ケーブル多芯ケーブルを淀川貫線新設し、情報最適化を摂津で行う  
東京一極はダメ

## いただいた意見紹介

その他のエリアやエリア全体に関する意見

### 将来予想

エリア全体

未番：観光や環境等の新たな対策の方向性を立てるか、既存の枠の中で議論するか今後検討

- 自動運転の貨客船の運行、貨客船の運行拠点、河川敷の自動化客モビルの運行
- リバーシティとして観光、交通主担として利用する。
- 水のエネルギーの利用
- 線状降水帯対策（水をガス化する資材）
- 産業基盤を水の街摂津として、地域住民共これまでの各要素を一つずつ経済に組み込む。  
S（スーパーな）D（弾力のある）G（素晴らしい構想）S（摂津シャツ）を構築しましょう

## 地域資源

- 淀川の利点、大阪平野を大阪湾に向け一本道。
- 淀川の水利用、一直線を利用して貫線交通利用が大事

## 実現するための課題

河底掘削で天井川化防ぐ。掘削出土した砂碎石の再利用

## 課題への対応内容

（未記載）

将来予想

摂津市は病院が少ないので、市民病院が必要である。

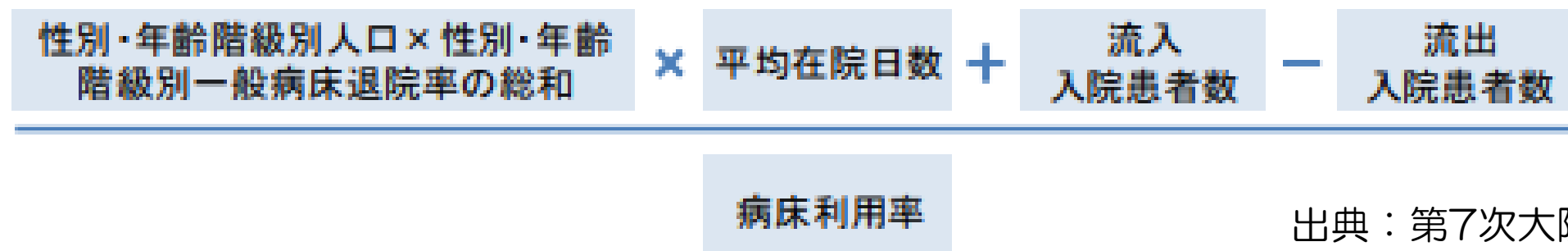
市の見解

大阪府の医療法に基づく医療計画において、摂津市の属する三島二次医療圏（高槻市・茨木市・摂津市・島本町）は、基準病床数が4,745床に対し、既存病床数（H29.6.30現在）6,502床（出典：第7次大阪府医療計画）となっており、大幅に上回っている状況となっています。

既存病床数が基準病床数を超える地域では、病院及び有床診療所の開設、増床等は原則出来ないこととされていますので、現時点で摂津市内に市民病院を新たに設置することは基本的に難しいと考えます。

※基準病床数とは、病院及び診療所の病床の適正配置・過剰な病床数を抑制することを目的に、医療圏ごとの病床整備の基準として、医療法に基づき、病床の種類ごとに定めるものです。

基準病床数の算定方法（一般病床の例）



## 【本日の内容】

- 今までに頂いた意見等の紹介
- **グラウンドデザインの将来予想等の修正の必要性**
- 今後の進め方等について

# 鳥飼まちづくりランドデザインと頂いたご意見の関係（将来予想）

## ランドデザインの将来予想

自宅から徒歩や自転車等により、安全で快適に南摂津駅までアクセスできるようになり、駅前の利便性を享受しつつ、水害の発生が想定される場合は、住民はあらかじめ定められた手順に従い、事前に徒歩や自転車等で南摂津駅まで行き、モノレールで市外の安全な場所へ広域避難することができます。

エリア内を流れる水路や水路沿いの緑地等は親水空間として整備され、個性豊かで美しい景観を作り出し、南摂津駅に近いところには一部高層住宅も見られます。

各家庭等では、地震や風水害等の自然災害への対策が徹底され、自分たちの生命と身体は自分たちで守るという意識が浸透しています。また地域では、日常から様々な人々が互いにつながり・支え合うコミュニティが形成されており、災害時の避難誘導や安否確認さらには避難所運営などがコミュニティ主体で実施されるなど「地区防災活動」が活発になっています。

多様化する生活課題の解決に向け、平時からの見守りなどをはじめ住民すべてが協力している様々な「地域福祉活動」が展開され、住民一人ひとりの暮らしの質が高められています。

ここでは、集会所等の公共施設や高層住宅、オフィス等のオープンスペースを活用した、子どもから高齢者まで誰もが集える「場」が創出されており、古くからお住まいの方と子育て世代等との交流が盛んで、地域の多様で多数の目と手で子どもたちが育てられ、子育て世代も安心できるしっかりと地域に根付いたコミュニティが形成されています。

## 将来予想に関する頂いたご意見

- ・新在家1丁目、2丁目の北側を通行するトラックは、地域の関係企業の許可車両のみとしてほしい
- ・新在家のファミリーマートの三叉路に信号機を設置
- ・避難の観点も含めて、新野々から橋を架けて堤防上に直結する橋を造ってほしい。
- ・新在家の中は道が狭く、歩行者が危ないので堤防上を通るのが良いと考えるので、新幹線側から公民館までの7-19時までの通行禁止を撤廃
- ・新幹線側から川沿いの斜面を使用し、道で車両交差できる場所を作ってほしい

- ・摂津市独自で警報を発するシステムを構築する
- ・子どもから高齢者までが安全に避難できる、交流できる場所を作る
- ・防災を重視したコミュニティセンターの建設  
（浸水しない高台、ヘリポート付き発着場、堤防から屋上へ車いすで昇れるようなスロープ、フリーWi-Fi設置、太陽光発電等の電源確保、避難行動要支援者の緊急避難所、平時は飲食可能なスペース、市民文化活動が出来るスペース）

# 鳥飼まちづくりランドデザインと頂いたご意見の関係（将来予想）

## ランドデザインの将来予想

自宅から徒歩や自転車等により、安全で快適に南摂津駅までアクセスできるようになり、駅前の利便性を享受しつつ、水害の発生が想定される場合は、住民はあらかじめ定められた手順に従い、事前に徒歩や自転車等で南摂津駅まで行き、モノレールで市外の安全な場所へ広域避難することができます。

エリア内を流れる水路や水路沿いの緑地等は親水空間として整備され、個性豊かで美しい景観を作り出し、南摂津駅に近いところには一部高層住宅も見られます。

各家庭等では、地震や風水害等の自然災害への対策が徹底され、自分たちの生命と身体は自分たちで守るという意識が浸透しています。また地域では、日常から様々な人々が互いにつながり・支え合うコミュニティが形成されており、災害時の避難誘導や安否確認さらには避難所運営などがコミュニティ主体で実施されるなど「地区防災活動」が活発になっています。

多様化する生活課題の解決に向け、平時からの見守りなどをはじめ住民すべてが協力している様々な「地域福祉活動」が展開され、住民一人ひとりの暮らしの質が高められています。

ここでは、集会所等の公共施設や高層住宅、オフィス等のオープンスペースを活用した、子どもから高齢者まで誰もが集える「場」が創出されており、古くからお住まいの方と子育て世代等との交流が盛んで、地域の多様で多数の目と手で子どもたちが育てられ、子育て世代も安心できるしっかりと地域に根付いたコミュニティが形成されています。

## 将来予想に関する頂いたご意見

- 堤防の斜面が拡幅整備され、ゆっくりくつろげる椅子も設置されている。
- ハイキング途中の人・散歩を楽しむ人・車椅子で来る人など多く、子どもたちは蝉取りに夢中。
- 緑豊かで安全な生活道路が整備されている。

緑豊かで安全な生活道路が整備され、災害時の避難や防災拠点ともなる公共施設や集会所が地域の人たちに活用され、地域の人たちのつながりが広がる。

祭りや正月には八幡宮では本殿に参拝し、稲荷神社にお参りする人も多い。祭りは「新在家八幡宮氏子中」の旗が市中にはためき、かなり盛大に行われ、初午祭りには手作りの「稲荷大明神」の数色小旗が風に揺らぎ、多くの方が参拝されている。

古民家巡りやお地蔵さん（新在家・鳥飼八防・鳥飼下など）巡りのハイキングコースが出来ている。古民家では庭の地蔵菩薩に参拝し、建築物を見学。決まった月一回の日に、低額でのお茶接待があり、ハイキングで立ち寄る人や近隣のお年寄り・子どもが集まり交流の場になっている。8月24日の地蔵盆には当地又は近くの公園で夏祭り盆踊りが開催され、大勢の人が楽しんでいる。

コンベンションセンターが必要。

# 鳥飼まちづくりランドデザインと頂いたご意見の関係（将来予想）

## ランドデザインの将来予想

自宅から徒歩や自転車等により、安全で快適に南摂津駅までアクセスできるようになり、駅前の利便性を享受しつつ、水害の発生が想定される場合は、住民はあらかじめ定められた手順に従い、事前に徒歩や自転車等で南摂津駅まで行き、モノレールで市外の安全な場所へ広域避難することができます。

エリア内を流れる水路や水路沿いの緑地等は親水空間として整備され、個性豊かで美しい景観を作り出し、南摂津駅に近いところには一部高層住宅も見られます。

各家庭等では、地震や風水害等の自然災害への対策が徹底され、自分たちの生命と身体は自分たちで守るという意識が浸透しています。また地域では、日常から様々な人々が互いにつながり・支え合うコミュニティが形成されており、災害時の避難誘導や安否確認さらには避難所運営などがコミュニティ主体で実施されるなど「地区防災活動」が活発になっています。

多様化する生活課題の解決に向け、平時からの見守りなどをはじめ住民すべてが協力している様々な「地域福祉活動」が展開され、住民一人ひとりの暮らしの質が高められています。

ここでは、集会所等の公共施設や高層住宅、オフィス等のオープンスペースを活用した、子どもから高齢者まで誰もが集える「場」が創出されており、古くからお住まいの方と子育て世代等との交流が盛んで、地域の多様で多数の目と手で子どもたちが育てられ、子育て世代も安心できるしっかりと地域に根付いたコミュニティが形成されています。

## 将来予想に関する頂いたご意見

子どもからお年寄りまでが集まれる場所で、地元の人と転宅されてきた人との交流の場になっている。  
横の集会所では「明日の笑顔を作る地域の活動拠点」として多くの参加者で賑わっている

光蓮寺では寺内庭を見学し、本堂を参詣・見学しタイミングが良ければ、椅子席で知識豊富な前職の話をゆっくり聞いている。年末除夜の鐘撞は現在の100余名から大幅に増えている。

子どもたちが元気に遊べる公園が整備されている。集会所4箇所、ちびっこ広場7箇所は、より身近な地域のつながりを広げる上で、さまざまな取り組みが期待できる。耐震化や施設整備、遊具の更新で使い勝手の良い施設や広場にしたい。

**「ランドデザインの将来予想」は、修正しなければならないほど、皆様から頂いたご意見と異なっているものではなく、現時点では、現行の将来予想のまま、次のステップに移行したい**

# 鳥飼まちづくりランドデザインと頂いたご意見の関係（地域資源）

## ランドデザインの地域資源

当エリアの南側は「人ともものが集まる賑わい（核）エリア」に隣接しており、大阪モノレール南摂津駅にも比較的近く、公共交通へのアクセス性が高いエリアです。

当エリアは、集合住宅や一戸建てなど多様な住宅が立ち並び、古くからある寺社仏閣もあり、往年の趣きを残しています。

近隣には、商業施設や病院、鳥飼図書センターがあり、日常生活の利便性が高く、また、水路沿いに立ち並ぶ樹木がまちの景観にうるおいを与えています。

一方、当エリアは、水害時には最大で水深5m～7m、浸水継続時間も2週間以上が想定されていることから、広域避難など、命を守る行動を確実に実施することが求められています。

## （修正案）

当エリアの南側は「人ともものが集まる賑わい（核）エリア」に隣接しており、大阪モノレール南摂津駅にも比較的近く、公共交通へのアクセス性が高いエリアです。

当エリアは、ちびっこ広場や堤防道路、新在家町公民館等、まちづくりに活用できる施設がある一方、古くからある寺社仏閣は往年の趣きを残しています。

近隣には、商業施設や病院、鳥飼図書センターがあり、日常生活の利便性が高く、また、水路沿いに立ち並ぶ樹木がまちの景観にうるおいを与えています。

一方、当エリアは、水害時には最大で水深5m～7m、浸水継続時間も2週間以上が想定されていることから、広域避難など、命を守る行動を確実に実施することが求められています。

## 地域資源に関する頂いたご意見

堤防には神木（銀杏）を含む四季折々の木々や彼岸花・水仙などキレイな草花・小鳥のさえずり・セミ・カラスなど自然がいっぱい。

昔は新在家の中を流れる水路は、蛍が飛び交う「春の小川」の歌詞のような川だった。

新在家には古い歴史（延暦4年：785年）の八幡宮や稻荷神社があり、特に秋祭りや稻荷神社の「初午祭り」がある。

木造古民家があり、その家にはお地蔵さんがある。

歴史ある（永正3年：1506年）西本願寺派光蓮寺がある。

## 現ランドデザインの地域資源に含まれていないもの

- ・新在家の堤防道路があり、堤防高を利用した高台に避難ができる。
- ・公共施設ではないが新在家町公民館と新在家公園はエリアの中心に位置し、老若男女コミュニティの場として活用できる。高い建物や公共施設がない本エリアにおいて、防災の拠点としても期待できる。
- ・公園（ちびっこ広場）には遊具があり、桜があり、特に枝垂桜・藤棚・若干の椅子もある。
- ・UR団地内にも二つの公園があり子どもたちが安全に遊べる居場所である。

# 課題解決に向けた取組の方向性といただいたご意見の関係

## (1) 快適に通勤、通学、買い物ができ、災害時でも円滑に避難できるように、徒歩や自転車等による南摂津駅までのアクセス性を高めます

- 新在家1丁目、2丁目の北側を通行するトラックは、地域の関係企業の許可車両のみとしてほしい
- 新在家のファミリーマートの三叉路に信号機を設置
- 避難の観点も含めて、新野々から橋を架けて堤防上に直結する橋を造ってほしい。
- 新在家の中は道が狭く、歩行者が危ないので堤防上を通るのが良いと考えるので、新幹線側から公民館までの7-19時までの通行禁止を撤廃
- 新幹線側から川沿いの斜面を使用し、道で車両交差できる場所を作ってほしい

## (2) 円滑な広域避難や避難行動要支援者に対応するため、地域の防災力・減災力を高めます

- 摂津市独自で警報を発するシステムを構築する
- 子どもから高齢者までが安全に避難できる、交流できる場所を作る
- 防災を重視したコミュニティセンターの建設  
(浸水しない高台、ヘリポート付き発着場、堤防から屋上へ車いすで昇れるようなスロープ、フリーWi-Fi設置、太陽光発電等の電源確保、避難行動要支援者の緊急避難所、平時は飲食可能なスペース、市民文化活動が出来るスペース)

## (3) 良好な居住空間を形成するため、今ある地域資源である農業用水路を保全するとともに、並木道の整備に努めます

- 堤防の斜面が拡幅整備され、ゆっくりくつろげる椅子も設置されている。
- ハイキング途中の人・散歩を楽しむ人・車椅子で来る人など多く、子どもたちは蝉取りに夢中。
- 緑豊かで安全な生活道路が整備されている。
- 緑豊かで安全な生活道路が整備され、災害時の避難や防災拠点ともなる公共施設や集会所が地域の人たちに活用され、地域の人たちのつながりが広がる。
- ひなびたローカル田んぼ風景
- 河川養殖事業、淡水魚の大量養殖



## (4) 地域コミュニティの強化に向けて、子どもから高齢者まで集い、交流する場所と機会の創出に向け取り組みます

- 子どもから高齢者までが安全に避難できる、交流できる場所を作る
- 防災を重視したコミュニティセンターの建設  
(浸水しない高台、ヘリポート付き発着場、堤防から屋上へ車いすで昇れるようなスロープ、フリーWi-Fi設置、太陽光発電等の電源確保、避難行動要支援者の緊急避難所、平時は飲食可能なスペース、市民文化活動が出来るスペース)
- 緑豊かで安全な生活道路が整備され、災害時の避難や防災拠点ともなる公共施設や集会所が地域の人たちに活用され、地域の人たちのつながりが広がる。
- 祭りや正月には八幡宮では本殿に参拝し、稲荷神社にお参りする人も多い。祭りは「新在家八幡宮氏子中」の旗が市中にはためき、かなり盛大に行われ、初午祭りには手作りの「稲荷大明神」の数色小旗が風に揺らぎ、多くの方が参拝されている。
- 古民家巡りやお地蔵さん(新在家・鳥飼八防・鳥飼下など)巡りのハイキングコースが出来ている。古民家では庭の地蔵菩薩に参拝し、建築物を見学。決まった月一回の日に、低額でのお茶接待があり、ハイキングで立ち寄り人や近隣のお年寄り・子どもが集まり交流の場になっている。8月24日の地蔵盆には当地又は近くの公園で夏祭り盆踊りが開催され、大勢の人が楽しんでいる。
- 子どもからお年寄りまでが集まれる場所で、地元の人と転宅されてきた人との交流の場になっている。横の集会所では「明日の笑顔を作る地域の活動拠点」として多くの参加者で賑わっている。
- 光蓮寺では寺内庭を見学し、本堂を参詣・見学しタイミングが良ければ、椅子席で知識豊富な前職の話をゆっくり聞いている。年末除夜の鐘撞は現在の100余名から大幅に増えている。
- 子どもたちが元気に遊べる公園が整備されている。集会所4箇所、ちびっこ広場7箇所は、より身近な地域のつながりを広げる上で、さまざまな取り組みが期待できる。耐震化や施設整備、遊具の更新で使い勝手の良い施設や広場にして欲しい。

いただいたご意見は、今後ワークショップで議論されます。  
いただいたご意見が、どの課題解決に向けた取組の方向性に追加されたのかご確認ください。

## 【本日の内容】

- 今までに頂いた意見等の紹介
- グランドデザインの将来予想等の修正の必要性
- 今後の進め方等について

# 今後の進め方等について

これまで頂いた様々な意見をもとに、以下のような流れで検討を進めたいと考えています。

意見の論点整理

いただいた意見について、論点の整理を行います。

取組の方向性ごとに  
ワークショップ開催  
のご案内

鳥飼まちづくりグランドデザインの「取組の方向性」別に、  
ワークショップの開催日程をご案内します。  
(市HP・市公式LINE等)

ワークショップの  
開催（複数回）

該当取組に関心のある方にご参加いただき、市とともに取組の詳細について検討する。

◎取組を実現するために、

1. 課題等を明確化
  2. 対策を検討
  3. 実施体制検討（市、住民等、企業等の役割分担）
  4. 資金調達方法検討
- など

計画を立案

取組の事業としての計画を立案

事業実施

**実現！**

## 協働のまちづくりについて

将来予想の実現に向けた取組は、住民や地域活動団体、事業所等との協働により進めていくことを目指します。

【参考】摂津市における「3つの『きょうどう』」と「協働のまちづくり」

### 【3つの「きょうどう」】

「きょうどう」には3つの考え方があり、どの「きょうどう」も、まちづくりを進めるうえで欠かせない取組みの形態です。

	立場	活動	目的
共同	同	同	同
協同	異	同	同
協働	異	異	同

共同：複数の人や団体が同じ目的のために同じ立場で同じ活動を行う

協同：複数の人や団体が同じ目的のために異なる立場で同じ活動を行う

協働：複数の人や団体が同じ目的のために異なる立場で異なる活動を対等に行う

今後広げていく必要がある  
“きょうどう”

### 【協働のまちづくりとは】

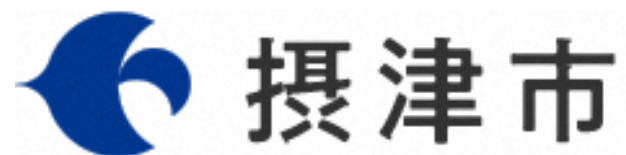
摂津のまちをより良くしていくために、それぞれが個別に取り組むよりも、多様な人や団体が持ち味を生かして連携・協力する(つながる)ことで、より多くの成果を生み出すことです。

コンパクトな摂津市の良さである“顔が見える関係性”を生かしながら、まちづくりを進めていきます。

そして、摂津市独自の取組を生み出し、まちの特色や魅力を発展させていきます。

## 参考資料

いただいた意見の一部について、実現しようとした際に課題となることについて一例としてご紹介します。



(1) 快適に通勤、通学、買い物ができ、災害時でも円滑に避難できるよう、徒歩や自転車等による南摂津駅までのアクセス性を高めます

## 【課題の一例】堤防道路の交通規制（7時～19時）について

警察に確認したところ、「①の規制を撤廃する場合は、②の区間の時間規制も同時に撤廃の必要がある。」とのことでした。

新在家と鳥飼八防の該当道路沿線住民が撤廃に合意している状況となった後に、警察と協議していくこととなります。



### 規制撤廃による懸念

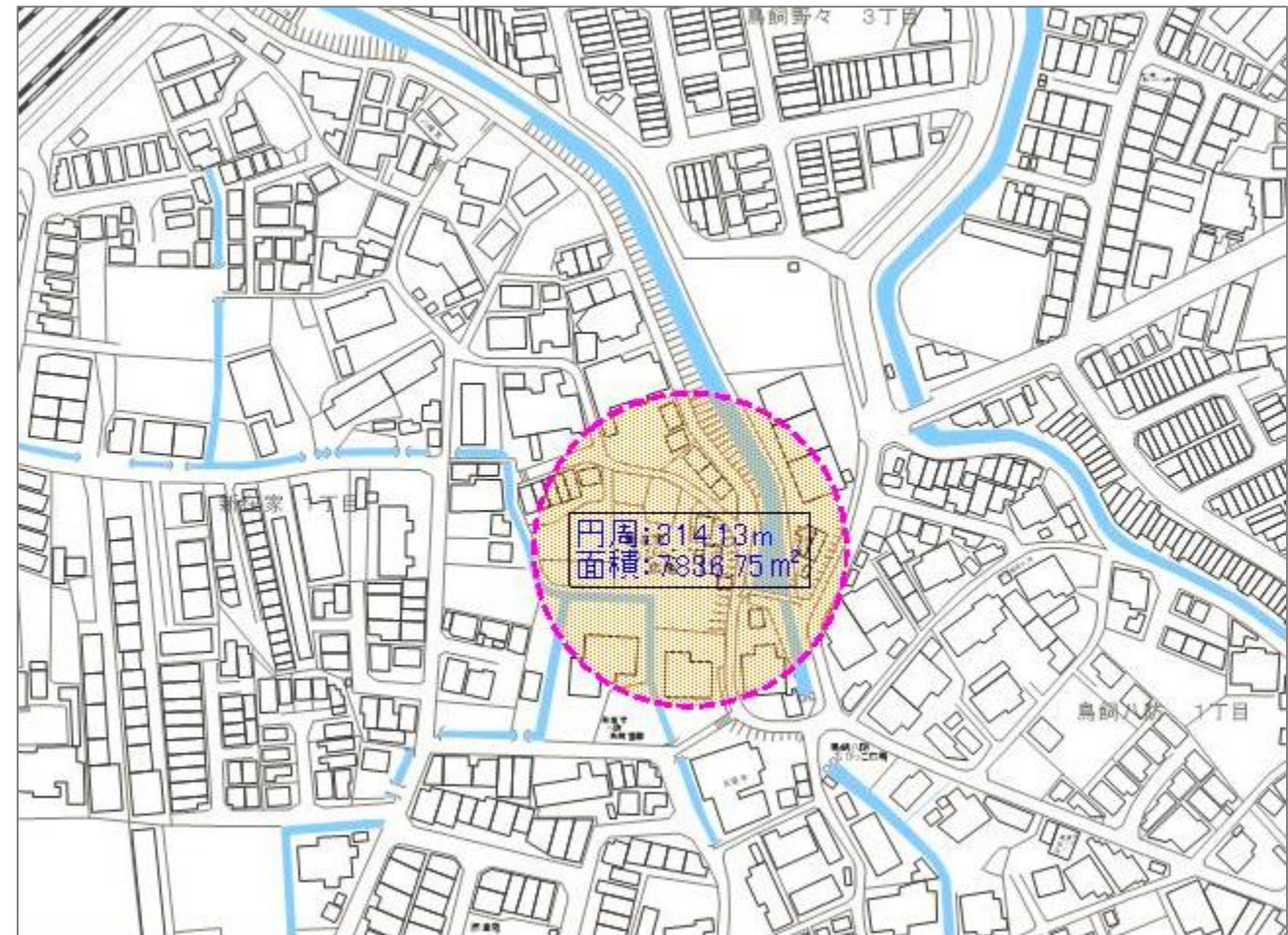
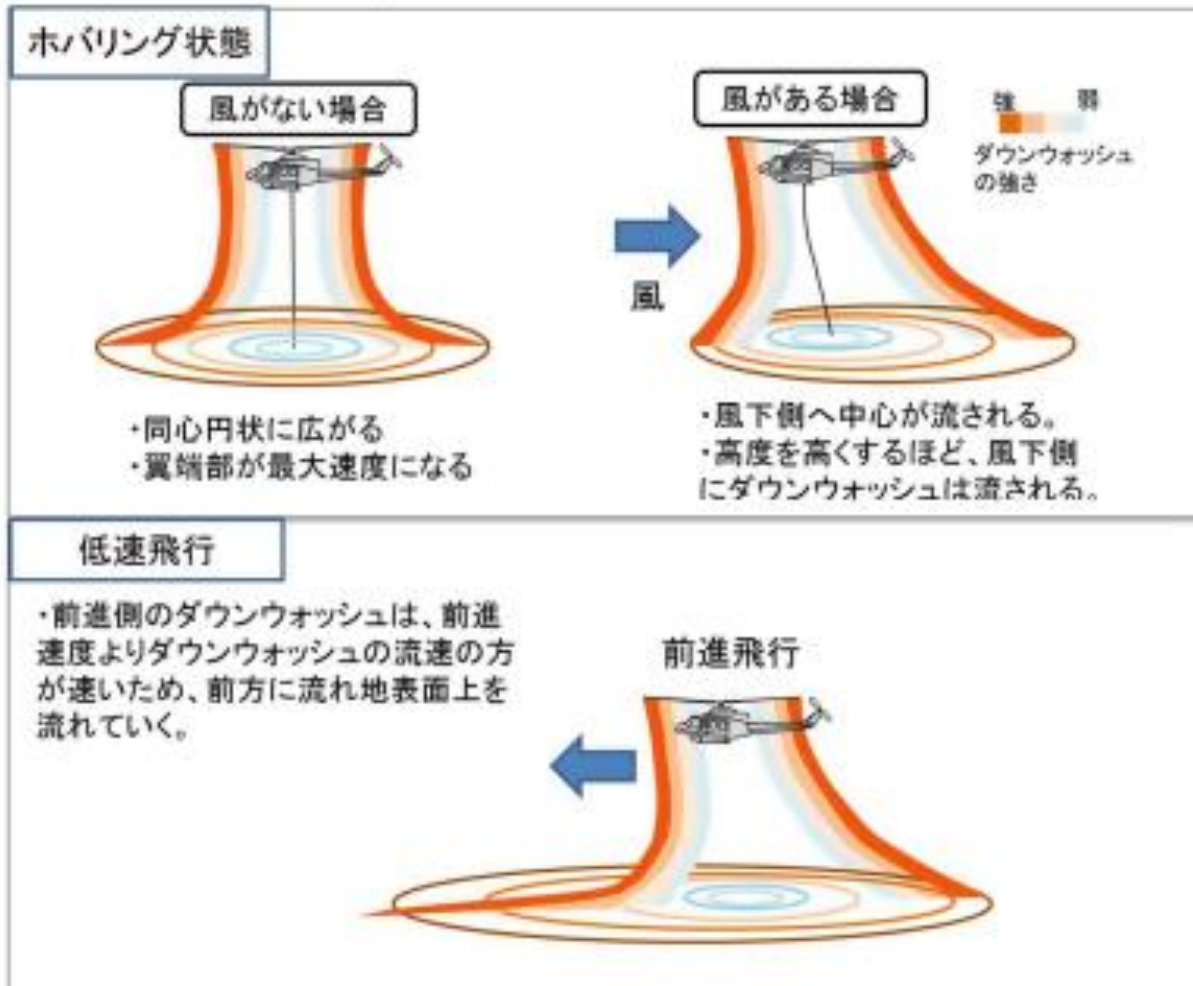
現状の規制は、抜け道として使われ、通学などの日常生活に支障がでていたため、時間規制をしたのではないかとされる。

- 撤廃することにより、
- ・通学や日常生活が危険にならないか。
  - ・中央環状線や鳥飼八防交差点から渋滞回避のため通過交通が増える可能性はないか。

等、しっかりと撤廃した場合の影響を検討したうえで、それでも撤廃したほうが良いと地域の住民の合意が得られた後に、警察と協議する必要がある。

【課題の一例】ヘリポート設置について（ダウンウォッシュの影響）

ヘリコプターは飛行時、ダウンウォッシュという下方方向への吹き下ろし風が発生する。大型ヘリコプターの場合、対地高度約45.7mでホバリングした際には、ヘリコプターのローター中心から水平方向に40m離れていたとしても、瞬間水平風力10m/s以上が発生。ヘリコプターの風の影響を受けないためにはヘリコプターのローター中心から50m以上離れる必要がある。※風力10m/sは人が飛ばされそうになる恐れがある強ささらに低空を飛行の場合は、瞬間水平風力は25m/sを超えることもあり、屋根瓦が飛んだり、人が転倒することもあり、歩行者には極めて危険な状態となる。



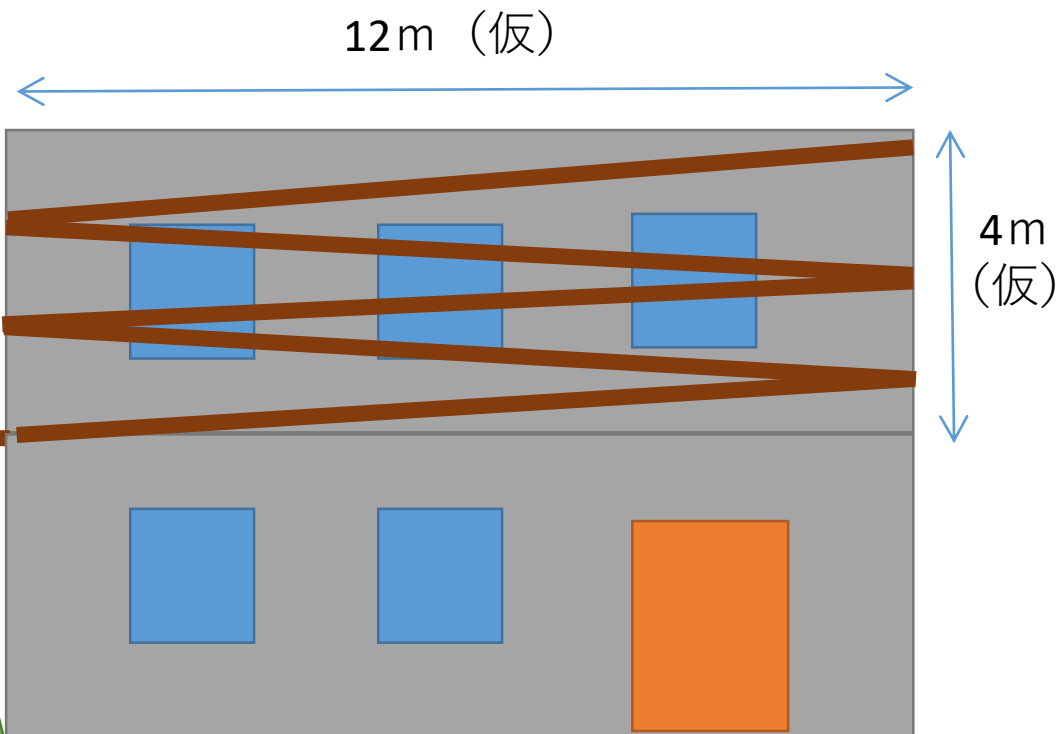
新在家町公民館を中心に半径50m円のイメージ

【課題の一例】屋上へ昇れるスロープの設置について（勾配の影響）

バリアフリー法の「建築物移動等円滑化基準」では、スロープの勾配基準は1/12以下（10cmの高さに対して、120cmのスロープの長さ）、車いすが自力で昇る場合は1/15以下が望ましい、となっています。

仮に新在家町公民館（約7.6m÷8m）の高さを屋上まで登れるスロープを付けようとする、約91mのスロープが必要となる。

（仮に堤防から屋上までの高さを半分の約4mとしても、約46mのスロープが必要）  
 実際には途中に踊り場の設置が必要となるので、もっと長い距離が必要となります。  
 津波タワーのように、建物周囲をスロープで囲むような形になると考えられる。



建物幅12mで4m上がる場合のスロープ（イメージ）



出典：南国市津波ハザードマップ



## 参考資料

(1) 快適に通勤、通学、買い物ができ、災害時でも円滑に避難できるよう、徒歩や自転車等による南摂津駅までのアクセス性を高めます

(3) 良好な居住空間を形成するため、今ある地域資源である農業用水路を保全するとともに、並木道の整備に努めます

## 【課題の一例】いただいたご意見の将来予想の方向性の矛盾について

### 将来予想

堤防の斜面が整備拡幅されゆっくりくつろげる椅子も設置されている。



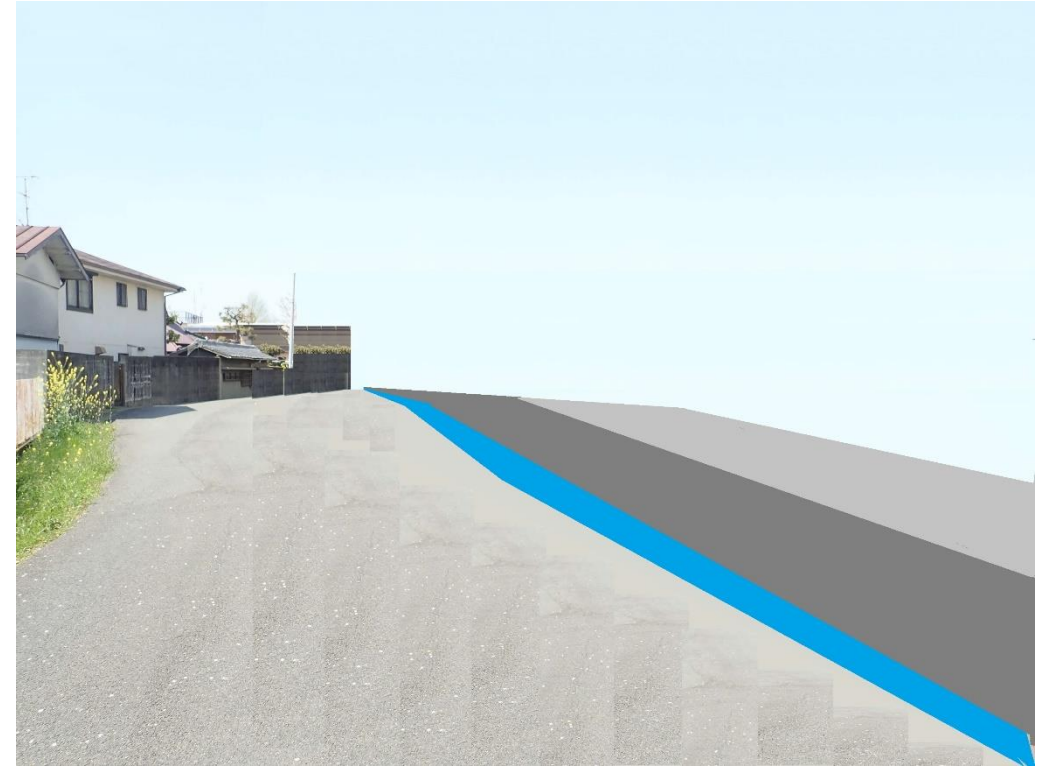
現在の堤防の姿

今ある堤防法面の自然を活かし、四季折々の姿を感じられる将来

※道路は拡幅せずに、車両交差が出来ないままである可能性

### 将来予想

新幹線側から川沿いの斜面を使用し、道で車両交差できる場所を造ってほしい。



道路を拡幅したイメージ

自然は無くなるが、生活道路の利便性を優先した将来

※道路拡幅に伴い、一般交通の煩雑化・通過交通の発生懸念

どちらも考え得る将来の予想

まちづくりにおいては、様々な選択が必要となります。

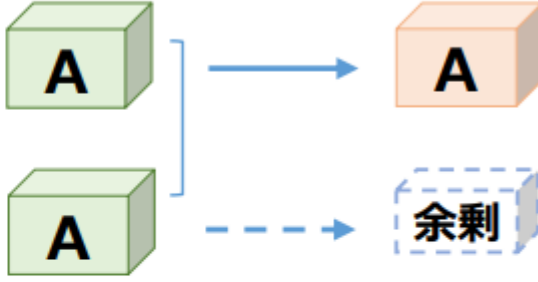
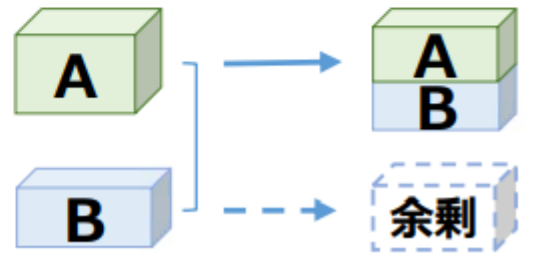
【課題の一例】施設の集約・複合化等の検討

摂津市公共施設等総合管理計画改訂版（令和3年3月）

少子高齢化の進展による社会保障関係経費の増大や、生産年齢人口の減少に伴う税収減が見込まれるなど、将来の財政状況が厳しくなると予測されるなか、全ての施設を同じ規模で新たに更新することは困難な状況です。また、市民ニーズの多様化、さらに量から質へと時代が転換し、施設に求められる機能が変化しています。今後、必要な施設の規模や機能を確保しながら、提供する公共サービスの質の向上を図っていくことが求められています。

新規施設を作る場合

供給の観点として、新築・増築については、**集約化・複合化及び廃止を原則**とします。複合化等を行うことにより総量の縮減を図っていきます。

取組手法	実施内容	取組イメージ
集約化	利用状況や利用需要等を踏まえ、同じ用途である複数の施設を、全体として必要な量に集約する。	
複合化	利用状況や、利用需要の見通しを踏まえ、複数の施設の機能（サービス提供）を、周辺の異なる用途の施設と複合化する。	

## 居住性向上エリアC その他の課題解決に向けた取組の方向性

今後、いただいている他の意見についても、課題について調べ、ワークショップ開催に向けて準備を進めます。

ワークショップは、準備が出来次第、参加者募集の案内を行います。

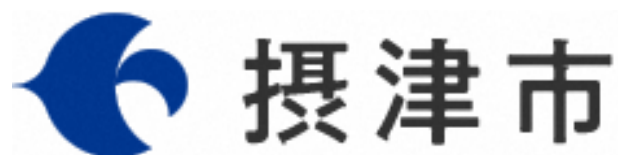
# 鳥飼まちづくりグラウンドデザイン説明会

居住性向上エリアC

2回目

ご参加ありがとうございました

令和5（2023）年8月19日



グラウンドデザインへのご意見はこちらから

ご意見・ご感想等何でも  
お気軽に送ってください。

メールの場合はこちら↓↓

[torikai-machizukuri@city.settsu.osaka.jp](mailto:torikai-machizukuri@city.settsu.osaka.jp)

